

3 次の文章A・Bを読んで、下記の設問(問1～10)に答えなさい。なお、出題の都合上、史料は改めたり省略したりした箇所がある。

A 1603年征夷大將軍となり幕府を開いた徳川家康は、積極的に様々な対外関係を展開した。1607年には対馬の宗氏を介して朝鮮との講和を実現させた。その際、朝鮮から使節が来日し、その後、朝鮮使節の来日は19世紀前半まで続いた。また、1609年には家康の許可のもと、薩摩の島津氏が琉球王国を征服した。この後、琉球は將軍に対する使節を派遣する一方、中国への朝貢も継続しており、日中両属の関係にあった。家康は朝鮮や琉球王国を介した日明国交回復もめざしたが、これは実現しなかったため、日中間では日本に来航する中国の私貿易船との貿易が行われた。また、家康は貿易ルートの確保に熱心で、イギリスやオランダに貿易を認めたり、朱印船貿易を推進したりもした。しかし、次第にキリスト教禁教を主たる目的に貿易統制が強化されていった。そして、3代將軍家光の時代に数度にわたり禁令が発せられ、1637～38年の島原の乱後、1639年にポルトガル船の来航が禁じられ、1641年には平戸にあったオランダ商館が長崎の出島に移された。すでにイギリス人は対日貿易から撤退し、スペイン船も来航が禁止されていたから、ここに幕府が管理する港は長崎一港となり、そこではオランダ人・中国人と貿易を行う体制が確立した。

問1 下線部(a)について、1604年、徳川家康は松前氏にアイヌとの関係に関する権限を保障した。その権限はどのようなものであったか、また、その権限を背景として松前藩ではどのような知行制がしかれたのか、その知行制の名称も合わせて60字以内で説明しなさい。

問2 下線部(b)について、日朝講和の後、1609年に宗氏と朝鮮との間で締結された通交・貿易に関する条約の名称を答えなさい。

問 3 下線部(c)について、琉球が将軍の代替わりごとに派遣した使節の名称を答えなさい。

問 4 下線部(d)について、朱印船貿易が隆盛となるに伴い日本人の東南アジア移住も盛んになり、各地に日本人による自治が行われた日本町も形成された。日本町が形成された都市として不適切なものを、次の I～IVから一つ選んで答えなさい。

I アユタヤ II プノンペン III フェフォ IV ゴア

問 5 下線部(e)の島原の乱は島原城主松倉氏・天草領主寺沢氏の苛政に抵抗した土豪や百姓の一揆であった。一揆勢にはキリスト教徒が多く、乱後、幕府はその根絶を図り、寺請制度のもと、人々が信仰する宗教の調査である を実施した。

空欄 に適する語句を答えなさい。

問 6 下線部(f)について、ポルトガル船がもたらした中国の物資で、その後、国産化が進み、幕末の開港後の貿易において最大の輸出品となったものは何か、答えなさい。

B 17世紀半ばに一応出来上がった日本の対外関係は、その後、これを規定する法や規則を欠くまま、約150年にわたって継続した。そうした状況下、通商を求めて来航したロシア使節に対応するなかで、幕府において、いわゆる「鎖国」が祖法とみなされるようになった。

幕府は「鎖国」という語句を公式には用いなかったが、「鎖国」の法の内容は、^(g)1792年に来航したラクスマンに対する国法書や、1804年に来航した に対する教諭書で文章化されており、オランダ国王の開国勧告に対する老中による回答書では、その内容が最も簡潔に表現されている。それは「通信は朝鮮と琉球に限り、通商は貴国(オランダ)と支那に限る」というものであった。

ところで、 に対する通商拒否を背景にロシア軍艦が樺太や択捉島を襲撃する事件が起きると、これを契機に幕府はロシア船打払令を発した。その後、1825年には打払いの対象を清・朝鮮・琉球以外の外国船に拡大したが、1842年にはこの政策を変更して薪水給与令を発した。

^(h)幕府は「鎖国」の法を維持するために腐心したが、1853年、アメリカ東イン⁽¹⁾ド艦隊司令長官ペリーが浦賀沖に来航して開国を求め、翌年には従来の対外政策を転換して和親条約を結んだ。

問7 空欄 に適するロシア使節の名前を答えなさい。

問8 下線部(g)について、「鎖国」の語を初めて使用したのはあるオランダ通詞であった。ケンペルの『日本誌』を抄訳した著書を「鎖国論」と題した、このオランダ通詞は誰か、答えなさい。

問 9 下線部(h)について、以下の史料は 1842 年に発された天保の薪水給与令である。

異国船渡来の節、二念無く打払い申すべき旨、文政八年仰せ出され候。然
(i) 注 1
る処当時万事御改正にて、享保寛政の御政事に復せられ、何事によらず御仁
(j)
政を施され度との有難き思召に候。右については、外国のものにても難風に
逢ひ、漂流にて食物薪水を乞候迄に渡来候を、其の事情相分らざるに、一
図に打払い候ては、万国に対せられ候御処置とも思召されず候。依って文化
三年異国船渡来の節、取計方の儀につき仰せ出され候趣相復し候様仰せ出され
候間、異国船と見受け候はば、得と様子相糺し、食料薪水等乏しく帰帆成り
(k)
難き趣候はば、望みの品相応に与へ、帰帆致すべき旨申し諭し(後略)

(『通航一覧統輯』)

注 1 「当時」……現在

- (1) 下線部(i)について、1837 年、幕府は「文政八年」に発した命令に基づきアメリカ商船を撃退させた。この商船の名称を答えなさい。
- (2) 下線部(j)は天保の改革をさす。この改革において、老中水野忠邦主導のもと、幕府は、財政の安定と江戸・大坂周辺の防備体制の強化を目指して を発したが、大名・旗本らの反対にあい撤回に追い込まれた。
空欄 に適する語句を答えなさい。
- (3) 下線部(k)のような政策に変更される直接の契機となった外国における戦争は何か、答えなさい。

問10 下線部(1)について、ペリーの開国要求への対応策を検討する際、老中阿部正弘は挙国体制の構築をめざして幕政運営における慣例をやぶる方策をとった。阿部がとった方策とそれが与えた政治的影響について、60 字以内で説明しなさい。